

---

# ほのぼの友情

神童サーガ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ほのぼの友情

### 【Nコード】

N3355F

### 【作者名】

神童サーガ

### 【あらすじ】

女同士の友情の話です。いつか来る別れ。友情にヒビが入るのか！？

**（前書き）**

こんな友情も良いかなと思いました。

「もしも、叶えられる願いなら、ランなら何を願う？」  
「ウチなら・・・永遠の友情かな？」  
「・・・ラン。アタシもだよ！！」

肌寒くなってきたこの頃。教室の窓からコスモスの花が見える。  
ランは冷たい風を頬に撫でながら、気持ち良さそうに目を細める。  
そんな友達を見て、ふと考えたことを聞いた。  
自分が望む答えを期待しながら。

「アタシ・・・怖いよ」  
「カレン？」  
「大学行って大人になって、結婚して・・・ランに友達が出来て・・・アタシだけ、一人になっちゃう」

カレンは悲しそうに目を下にむけた。

「バカだなあ・・・ウチはカレンがたった一人の大親友だって思ってるよ」  
「アタシだって思ってる！！」

カレンが怒鳴ったのにビクリしたラン。

何も言えずに目線を泳がす。

「不安が大きくなっていくんだ・・・いつか別れがくるなら一生会わないほうが良いのかなって!!」

「・・・だったらウチは結婚しないでカレンの側にいるよ?・・・幼稚園の頃からのように」

「ラン・・・(ウチはランの幸せを奪っちゃうのかな?)」

まだ不安が拭い切れないようだ。

スカートの裾を強く握り締めてる。皺になっている。

ランはカレンの手の上に自分の手を重ねた。

「なら一緒に結婚して隣りに家を作ったりすれば良いじゃん!!」

「でも、丁度良く相手なんて・・・」

「どちらか待つんだよ・・・見つかるまで」

「そんなの!!・・・待つなんて・・・」

「ウチはカレン以上に大事な人なんていない」

「・・・アタシも一番だよ」

「待つなんて苦じゃないよ」

「・・・うん」

お互いに握手するように手を握る。  
初めて会った時のように。

「ねえ！！キミの名前は？ウチはラン！！」

「あ、アタシはカレンだよ！！」

「ウチら今日から親友だよ！！」

「えへへ・・・親友」

温かい言葉だった。

親友。

くすぐったくて、優しくて、これ以上の言葉なんて、幼いながらも無いと思った。

大事なキミのためなら、全てを投げ出しても、助けに行くよ。  
だから、友情という絆を消さないように願うね。

同じように手を握り締めながら・・・

（後書き）

- ・ 友達と隣り同士で自分達の子供も友情の絆で結ばれたら良いなと・

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3355f/>

---

ほのぼの友情

2010年11月17日14時56分発行